



高松矯正管区

更生支援企画課広報



-NEWS88 令和4年7・8月合併号-

◎令和4年度四万十町再犯防止推進計画委員会（第1回）

四万十町（高知県）において、令和5年度から実施予定の再犯防止推進計画の策定委員会が開催されました。四万十町内の、犯罪をした者等が孤立することなく地域の一員として住み続けられるように、四万十町再犯防止推進計画を策定し、国、高知県、保護司会など関係機関が一体となった支援を総合的に実施していくことを目的としています。当課も委員として出席し、再犯防止施策の助言等を行い計画の企画・立案・検討のお手伝いをさせていただいております。

本委員会は、関係機関7団体で構成されており、全機関出席のもと開催されました。

本委員会においては、まず高幡保護区保護司会長が会長に、四万十町更生保護女性会長が副会長に選任され、その後、四万十町事務局から、四万十町再犯防止推進計画についての説明が行われました。

四万十町を管轄する窪川警察署管内の刑法犯検挙者数及び再犯者数を参考指標として設定し、再犯者数の減少に向けて、本計画に取り組み、定期的に検証を実施するとのことでした。

また、当管区からは、国の再犯防止推進計画及び再犯防止推進計画加速化プランについての説明や、法務少年支援センターこうち及びコレワーク四国の説明等を行いました。

今後も、四万十町及び高知保護観察所等と情報共有をしながら、必要な情報提供を行い、円滑な計画策定に向けた支援を通して良好な関係を継続し、協働して再犯防止に係る取組を実施していきたいと考えております。



◎7/18にPROSが上映会を実施！

香川大学にて、映画『記憶』の上映会と、中村すえこ監督を囲んだトークセッションが開かれました。

さぬき再犯防止プロジェクト(Prevent Re-Offense Sanuki)通称PROSは、地域の方たちが安全に安心して暮らせる社会を作り出すために、再犯防止を目的として、香川大学の学生の皆さんにより取り組まれているプロジェクト事業です。PROSは、犯罪や非行の前歴がある方の「居場所と出番」をつくる取り組みや、多様な人たちを受け入れる地域社会にするためのお手伝いをしています。

「記憶」は、少年院在院中の少女たちと女子少年院に着目したドキュメンタリー映画です。令和3年度の犯罪白書によると、少年院在院者のうち、被虐待経験があると答えた割合は男子少年が約40%、女子少年が約70%を占めています。また、犯罪をした者の背景には、幼少期の虐待やいじめという過去の被害が影響していると言われています。この上映会では、現在の少年院在院者を取り巻く環境を地域の方やこれからの社会を担っていく若者に知ってもらうことで、多くの人に新たな視点や気づきを促し、偏見や差別を減らすことを目的としています。



犯罪背景：幼少期の虐待・いじめ
↓
非行少年・少女を取り巻く環境への着目
↓
差別をなくし、
多様性を受け入れる社会づくり
(関係機関の連携強化が必要です。)



【問合せ先】

法務省高松矯正管区更生支援企画課 TEL：087-822-4460
〒760-0033 香川県高松市丸の内1-1 高松法務合同庁舎